

# 長岡市三島郡算数・数学教育研究会の取組

## 1. 算数・数学研究会の年間活動概要

長岡市三島郡算数・数学教育研究会は、長岡市三島郡学校教育研究協議会の中の単位研究会として研究活動に取り組んでいる。小学校会員96名、中学校会員82名、合計178名の会員で構成され、年一回の総会と常任委員会、授業研究会を開催し組織と研究の充実を図っている。

本研究会では年度の研究主題を設定し、それを受けて会員個々がそれぞれの所属校で研究を深めるとともに、事務局を中心に小中の連携を図りながら積極的に授業研究会を開催している。授業研究会では授業公開とその後の協議会を通して、研究主題に迫る算数・数学指導のあり方を追究し、その成果を全会員で共有できるように工夫している。

今年度は長岡市三島郡学校教育研究協議会の重点教科指定を受け、より充実した研究実践を進めるため、小学校、中学校それぞれ1カ校ずつの授業研究会と算数・数学教育講演会を実施する。

## 2. 算数・数学研究会の研究主題

「算数・数学的活動により、算数・数学のよさを実感し、主体的に取り組む算数・数学教育」

新学習指導要領の算数・数学科では、算数・数学的活動がより一層重視されている。本研究会でも、児童・生徒が目的意識をもって主体的に取り組む算数・数学的な学習活動を計画的に授業に取り入れ、さらにはその内容を工夫・充実させることを研究の中核に据えている。そのような算数・数学的活動を通して、児童・生徒が意欲的に学習活動に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付け、さらには数学的な思考力・判断力を養うことができると考えている。

本研究主題で研究実践に取り組んで3年目となる。これまでの成果と課題を踏まえ、より充実した授業実践を通して、“算数・数学のよさ”を多くの児童・生徒が実感できるよう努めている。

## 3. 授業実践の取組から

平成23年度の小学校の授業研究会は、12月16日(金)に長岡市立関原小学校で実施する予定である。この研究会の授業公開に向けて、公開授業者を中心に関原小学校内の算数・数学研究会員で学習指導案作りを行った。その後、研究主題を踏まえたよりよい授業作りを目指して、12月上旬に常任委員と授業者で検討会を開き、学習指導案を検討し改善を加えていく。

この授業では、かけ算の九九表の作成やそれを活用したゲームや具体物の操作活動を積極的に取り入れ、被乗数・乗数と積の関係や交換法則等を児童が自分の力で見つけだしていくことを授業の中核に置いている。また、自分の思考の過程を明確にし整理するために、言葉や式、図などの多様な表現方法を用いた学習活動を設定している。これらの算数的活動の工夫によって、かけ算九九の暗唱による暗記に偏ることなく、児童が主体的に乗法の仕組みや決まりを見つけ出し、それを表現したり応用したりする力を育てていくことをねらいとしている。

これからも、本年度までの取組を踏まえ、研究主題の具現化を目指した授業公開と検討会を通じて、その成果と課題を会員が共有するとともに、それらを自らの授業づくりに生かし、会員一人一人の算数・数学における授業力向上のために組織的に取り組んでいきたい。

長岡市三島郡算数研究部長 長岡市立関原小学校 高橋 雅史